

光星、青森山田 決勝へ

サッカー
第95回全国高校サッカー 青森市の県総合運動公園陸上競技場で行われ、青森山田と八学光星が決勝進出を決めた。



「三農八学光星」前半13分、光星は坂井慧大(左)が先制点を決める
—県総合運動公園陸上競技場

「20連覇させない」

○…決勝進出を決めた光星の川口詩音主将は「試合内容は微妙だったが、先制点を取れたのが良かった」と試合を振り返った。
前半13分、「自分が先制点を決める」と意気込んでいた2年坂井慧大が先制弾。

「坂井のおかげで気持ちに余裕ができた」(川口主将)と後半32、34分にも加点し、勝利を手にした。

決勝は19連覇中の青森山田。川口主将は「無失点を続け、チャンスを狙っていく。ただでは20連覇させない」と気合十分。坂井は「先輩たちのために絶対優勝する」と誓った。

八学野西は青森山田と対戦。後半に4失点し力尽きた。光星は三農と戦い、前半13分に坂井慧大が先制点。後半、三農の佐々木翼がPKで1点を入れたが、光星が3-1で勝利した。決勝は6日正午に同会場で試合開始。(稲村安利)▽準決勝
青森山田 5-0-0 八学野西 4-0

八学光星 3-1-0 三農 2-1

主将不在、敗戦に涙
○…就職試験のために太田佑主将が不在で臨んだ三農。小笠原副主将は「決勝に連れて行けなくてごめん」と涙を浮かべた。「頑張れ。頼むぞ。主将から勝利を託されたイレブ

ン。前半3分には光星のPKをGK和島翔馬が好セーフで阻止した。だが13分に先制され、後半も2失点。反撃は後半37分の1点にとどまった。
小笠原副主将は「雨でピッチが滑ってやりにくかったが、言い訳はできない。後半はいいプレーができた」と思ふ」と涙交じりに話した。

野西王者に屈す

○…前半こそ1失点に抑えた野西だが、後半に相次いでゴールを許し、20連覇を目指す王者に屈した。
初戦から無失点で準決勝まで勝ち上がった。堀川竜弥主将は「負ける気がしない」とみんな強気だったのに」と悔しがった。「相手は体つきやスピードなど、基礎的なレベルから高かった」と敗因を挙げ、「後輩たちには基本からしっかり磨いて頑張ってもらいたい」とエールを送った。